



Shimotsuke English Journal (SEJ)

Vol. 56

R2.7.16

今月のキーワード

学習評価（要録等への記載）

パフォーマンス評価

新学習指導要領の実施に伴い、小学校では観点別学習状況における評価の観点や指導要録の様式が変更となりました。今回は、指導要録の記載について共通理解を図るとともに、「思考・判断・表現」を評価する際に有効とされるパフォーマンス評価について共有したいと思います。

学習評価（指導要録への記載）

学習評価の基本的な考え方として、

- ①児童生徒の学習改善につながるものにしていくこと
- ②教師の指導改善につながるものにしていくこと
- ③これまで慣行として行われてきたことでも、必要性・妥当性が認められないものは見直していくこととされています。一人一人の学習の成立を促すための評価という視点を一層重視していきましょう。

（学習評価の在り方ハンドブックより）



外国語活動（第3、第4学年）の評価（指導要録）



教科	観点	学年	1	2	3	4	5	6	学年	学習状況及び達成性に係る成長の様子
国語	知識・技能								1	
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度								2	
社会	知識・技能								3	
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度								4	
算数	知識・技能								5	
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度								6	
外国語活動	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
外国語科	知識・技能								3	
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度								4	

様式2 指導に関する記録 外国語活動の記録の欄

評価の観点に即して、児童の学習状況に顕著な事項がある場合に、その特徴を記入する等、**児童にどのような力が身に付いたか**を文章で端的に記入しましょう。

『小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校における児童生徒の学習評価及び指導要録の改善等について（通知）』（H31.3.29）



外国語科（第5、第6学年）の評価（指導要録）



教科	観点	学年	1	2	3	4	5	6	学年	学習状況及び達成性に係る成長の様子
体育	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									
外国語	知識・技能									
	思考・判断・表現									
	主体的に学習に取り組む態度									

様式2 指導に関する記録 外国語科の評定

「評定」は、中・高等学校の外国語科と同様に、その特性及び発達の段階を踏まえながら、**数値による評価**を適切に行うことが求められています。学習指導要領に示す各教科の目標に照らして、その実現状況を

- 「十分満足できる」状況と判断されるもの：3
 - 「おおむね満足できる」状況と判断されるもの：2
 - 「努力を要する」状況と判断されるもの：1
- のように区別して評価を記入します。



評定の適切な決定方法等については、各学校で決めてください。

学習到達目標とパフォーマンス評価



話すこと〔発表〕〔やり取り〕において、児童生徒に実際にやり取りさせたり、発表させたりする姿を評価することもパフォーマンス評価の1つです。「英語を使って何ができるようになるか」を評価していく点からも、このような評価方法を取り入れていくことは大変有効な手段となります。

<パフォーマンス評価を行う際の留意点>

パフォーマンス評価を行う際、評価の基準を明確にすることはもちろん、CAN-DOリストをもとにした学習到達目標との関連や、事前までの指導（主な言語活動との関連を図ること）が大切です。**子どもを評価するだけでなく、指導の改善につなげるためのパフォーマンス評価にしましょう。**

例) 複数の単元をまとめて、学期末にパフォーマンス評価を行う場合

各校での自校化をお願いします。

6年生の CAN-DO リストをもとにした学習到達目標

関連

例：1学期のパフォーマンス評価（「話すこと（やり取り）」で評価）

ALTに自分のことを知ってもらうために、自分の好きなものについて、自己紹介を行い、質問に答える。

>>> 評価規準設定する

指導の積み重ね

事前の指導（各単元における主な言語活動）

- | | | |
|--------|----------------------|-------------------------|
| Unit 1 | 自己紹介をする。 | （「聞くこと」「話すこと（発表）」で評価） |
| Unit 2 | Who is this? クイズをする。 | （「聞くこと」「話すこと（やり取り）」で評価） |
| Unit 3 | 自分のまちの紹介をする。 | （「話すこと（やり取り）」「書くこと」で評価） |

言語活動とは、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う活動」を意味します。**機械的に単語を繰り返して言う活動は言語活動とは言わない**ことに留意してください。



<まとめ>

- ・事前の指導→パフォーマンス評価→事後の指導 という一連の流れを意識して実施しましょう。
- ・評価の基準を明確にし、児童生徒と共有しましょう（目標の共有を含む）。
- ・評価者間で評価の基準について共有を図り、評価の信頼性を高めましょう。
- ・「次はもっと～できるようになりたい」という児童生徒の学習意欲を喚起できるようお願いします。

